

活動状況

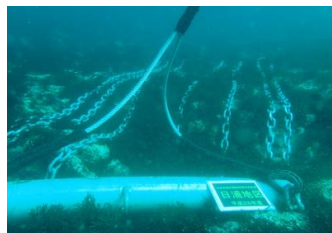
函館地区の海を豊かにする会（入船、えさん、戸井）※

※戸井地区は令和4年度まで事業を活用

函館地区は、道内有数のマコンブ生育地域となっており、この「コンブ場」が地域の環境保全に大きな役割を果たしていると考えられます。そこで各地区では、この藻場（コンブ場）の保全を地域の重要な課題として位置付け、水産多面的機能発揮対策事業を導入した積極的な保全活動を展開しています。

活動組織の構成員（漁業者が中心）は、「出来ることは自分達で」を合い言葉に、大型機械等に頼らず、漁場の状況に合わせて、構成員自身による保全活動に取り組んでいます。

- ①ウニ密度管理 : 海藻類の食害を抑え、海藻類の着生量を維持・確保
- ②岩盤清掃 : 特注の小型洗耕機（チェーン）を曳航し、海藻類の着生を促進



【小型洗耕機 海底の様子】

小型船舶で漁業者が
自分達で曳航しています。

- ③コンブ母藻設置：母藻の確保から陰干し処理～袋詰め、海中投入（設置）し、胞子を供給



【母藻陰干し】



【袋詰め】



【海中投入（設置）】



- ④モニタリング : コンブ場の状況を把握し、活動の効果を評価。



【潜水による効果モニタリング】

この他に、コンブ保護区を設定し、
藻場（コンブ場）の維持保全に努め
ています。
被度は何%かな？

写真は、えさん漁協、戸井漁協提供